■Ｈ１６年福井豪雨の教訓を踏まえた取り組みによる防災意識の高揚

福井県福井市

過去の浸水被害

平成１６年７月１８日　福井豪雨

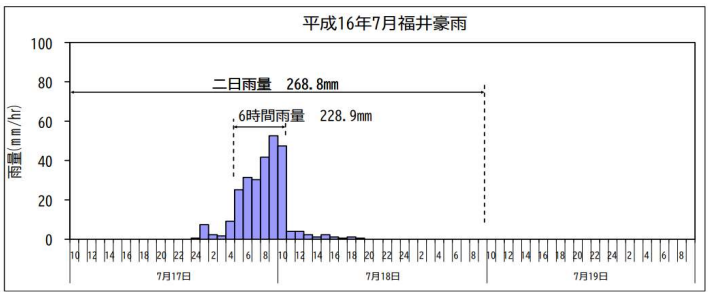
【浸水原因】洪水（堤防決壊等）内外水氾濫（河川水位の上昇に伴う越水及び溢水、排水機場や合流式下水道の能力不足等）

【被害状況】

【人的被害】軽傷者1名　【住宅被害】全壊11棟、半壊39棟、一部破損82棟、床上浸水2,514棟、床下浸水8,673棟

【避難者数】4,789名　【避難勧告・指示】世帯数34,705世帯、人数96,000名

【浸水状況】浸水区域250ｈａ、床上浸水区域100ｈａ、道路冠水　約1,016km



【図1 足羽川天神橋地点上流流域平均雨量】出典：「足羽川洪水災害調査対策検討報告書」（平成17年3月）

福井豪雨は、日本海から福井県嶺北地方に延びる梅雨前線が活発化し長時間停滞したことにより、足羽川の流域に重なる形で集中的に強い雨を降らせ、最大降水量は１時間に７５ｍｍとなり、河川水位が上昇し堤防が決壊した。

また、下水道の排水能力を超えて雨水が市街地や道路にあふれる「内水型氾濫」も続出した。

課題

【自助・共助の強化及び充実】

避難状況は、福井市内の一部の地域を除き避難勧告及び避難指示を発令、避難箇所（４１箇所）を開設したが、必ずしも避難者多数の避難行動にはつながらなかった。しかしながら氾濫区域においては、電話が不通状態で携帯電話も繋がりにくいなか、自治会長、近隣住民及び地区民生委員などが協力しあい、一人暮らしの高齢者等の安否確認を行い避難誘導を行った。

【市民への情報発信】

福井市は、各地区の連合自治会長宅に防災行政無線の戸別受信機を配備、各自治会長へは災害対策本部の職員が電話で連絡するシステムとなっていたため、当時は該当する地域があまりにも広く自治会長の数は数百人、対応に限界があった。また、避難勧告・避難指示は市役所と防災センターから市内の小学校に設置された防災行政無線の屋外スピーカーを通じて放送。消防車や広報車も巡回して市民に知らせたが、雨音にかき消されたり、冠水で車が入れなかった地域もあり「聞こえなかった」との声もあった。福井市春日１丁目の足羽川左岸堤防決壊現場周辺で行った住民アンケートによると、住民の６割以上が水害発生後まで避難勧告・避難指示を知らなかった。また、福井豪雨以前では、足羽川において目立った水害がなかったことから、市民の防災意識が低下しているとの指摘もあった。

【避難場所等の見直し】

住民は、災害種別ごとの指定避難所がどこか浸透しておらず、ハザードマップにおいては縮尺が小さく避難場所や避難経路が分かりにくいことや、高齢者においては避難経路が水没し避難できない状況が見受けられた。

自助共助の取組

課題の解決策

【自助・共助の強化及び充実】

福井市全ての自治会で「自主防災組織」の結成を目指し、防災活動が充実するよう積極的な支援を行っている。

（結成手続の簡素化、結成及び防災活動に必要な資機材等の活動助成、地区防災組織のリーダー研修会等の実施）

【市民への情報発信】

災害情報の入手方法「防災行政無線」「防災気象情報メール」「ＳＮＳ」「防災アプリ」等の登録啓発、災害リスクを考えた避難行動等のタイムラインの作成、更には、土砂災害警戒区域等の危険区域及び浸水被害の区域図等、それぞれのハザードマップを作成し、市のホームページに掲載するとともに、出前講座時において市民へ周知している。

【避難場所等の見直し】

改訂ハザードマップに伴う浸水深を考慮した指定避難所の周知、また、災害情報の入手方法、気象状況等を考慮した避難行動や建物内での垂直避難による安全な避難行動、住民のマイタイムラインの作成等の情報を掲載したハザードマップを、各家庭へ配布する。更にはLアラートを活用しテレビに現在、開設されている避難所情報も流している。

自助共助の取組

【図2 自主防災組織の活動状況】　出典：「福井市HP：自主防災組織について」

効果

- 自主防災組織結成率：９７％程度
- 最大降雨量　　：７５mm/h（平成１６年７月豪雨）→１００mm/h（令和３年７月大雨）
- 浸水被害戸数の減少：１１，１８７→１４０（河川堤防の嵩上げ補修等の対策によるところが大きい）

情報伝達

- 防災行政無線　・緊急速報メール　・防災情報自動応答テレホンサービス　・防災気象情報メール
- ホームページ　・ＳＮＳ　・ヤフー防災アプリ　ＬＩＮＥ　・Ｌアラートを活用しテレビにて情報配信

補助制度

- コミュニティ助成事業補助金
- 自主防災組織活動助成補助金
- 浸水防除施設設置費補助金（雨水タンク・止水板設置費用の一部補助）

1．自主防災組織連絡協議会活動事業補助金とは？

（1）対象組織・・・各地区自主防災組織連絡協議会
　　※自主防災会（自治会）単位では受付できません。
　　必ず、自主防災組織連絡協議会と協議・調整してください。
（2）対象事業・・・防災訓練、防災パトロール、研修会等の防災活動に要する経費
（3）補助金の額・・補助率１／２以内で１０万円を限度とする。（1,000 円未満切捨て）

【主な補助対象となるもの】

◎防　災　訓　練（ポスター、看板、資機材等借用費、保険料、合図用花火等）
◎防災パトロール（腕章、懐中電灯、ジャンパー、塗料等）
◎防 災 研 修 会（資料費、講師謝礼、案内通信費等）
◎防災マップ作成（地図、マジック等消耗品、ラミネート加工代等）
◎防 災 啓 発 活 動（チラシ、ステッカー等）
◎そ　の　他（講習会受講費、表彰状（賞品は対象外）、撮影用消耗品、広報誌作成費）
◎複数連絡協議会間の災害時相互応援協定策定に係る経費（アドバイザー謝礼、事務費等。参加連絡協議会で費用を分担し、各連絡協議会から申請）

【図3 自主防災組織活動助成補助金】
出典：「活動事業補助金申請マニュアル（福井市HP）」

■設置補助について

補助対象施設名	雨 水 タ ン ク	止 水 板
補助金額 限 度 額	対象経費の１／２を補助 100ℓ以上～ 500ℓ未満　上限 20,000 円 500ℓ以上～1,000ℓ未満　上限 45,000 円 1,000ℓ以上　上限 60,000 円	対象経費の２／３を補助 上限 500,000 円

■雨水タンクの設置例

■止水板の設置例

【図4 雨水タンク・止水板の設置費補助金】
出典：「浸水防除施設設置概要（福井市HP）」

参照

- 防災情報ポータルサイト　https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kikitaisaku/portalsite.html
- 下水道内水ハザードマップ　https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/gesui/gesuiproject/hazardmap.html
- 補助制度（コミュニティ助成事業補助金）　https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/bosai/bosai/p021129.html
- 補助制度（自主防災組織活動助成補助金）　https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/bosai/bosai/katudouhozyo.html
- 補助制度（浸水防除施設設置費補助金）　https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/gesui/gesuiproject/2017usui.html
- 「足羽川洪水災害調査対策検討報告書　H16.7」　https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kasen/seibi/fukuigouu d/fil/002.pdf

問合せ先：福井市 市民生活部 危機管理局 危機管理課